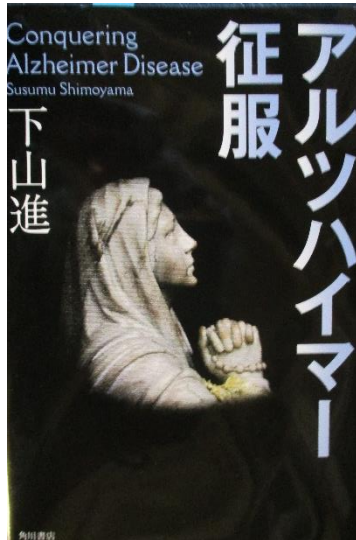


書籍紹介 「アルツハイマー征服」 下山進 角川書店



著者は、文芸春秋の元編集者・ノンフィクション作家で、本書は15年余の国内外の多くの人の証言を得て、いかに多くの文献を調べたかが良く分かる内容で、取材を経て書き上げた330頁の書き下ろし作品の力作である。

高齢化に伴い増加する認知症患者の大半を占める「アルツハイマー病」の治療法を探そうと、エーザイで活躍をした人たちの研究や臨床試験に携わった人達の優れた着想、病気を治したいという強い思い、失敗を繰り返す中での葛藤などを丁寧な取材を通して描かれた“創薬へのドラマ”が実名で壮大に記載されている。

期待されるのは、バイオジェンとエーザイがFDAと厚労省に承認申請中のアルツハイマー病を対象とした「アデュカヌマブ」の動向であろう。

この薬は、アルツハイマーに罹患している患者の脳内アミロイドベータを除去することにより、臨床症状を抑制する初めての治療法として期待されている。

尚、本書籍の「書評」が朝日新聞や日本経済新聞などに掲載されている。